

学 年  
低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん4)

年 組 名前



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① 体( )そう( )で首( )を回( )すと、気( )もちが( )いいな。

② き( )ゆう( )食( )当( )番( )は、一( )し( )ゆう( )間( )で交( )たい( )する。

③ 犬( )が西( )む( )き( )や尾( )は東( )。前( )が北( )なら後( )ろ( )は南( )。

④ 谷( )川( )に小( )さ( )な魚( )が、た( )く( )さ( )んお( )よ( )い( )で( )い( )る。

⑤ 東( )京( )か( )ら広( )しま( )ま( )ま( )で新( )かん( )線( )で( )行( )こ( )う。

⑥ ぼ( )く( )は、し( )ょう( )来( )、は( )つ( )明( )の天( )才( )に( )な( )る。

学 年

低

かんじのふくしゅう（読み・ていがくねん4）

年 組 名前



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① 体(たい)そ(くび)うで(まわ)首を回すと、気(き)もちが(き)いいな。② き(しょくとうばん)ゆう(いっ)食当番は、一し(かん)ゆう(こう)間で交(こう)たいする。③ 犬(いぬ)が西(にし)む(お)き(ひがし)や尾(まへ)は東(きた)。前(うし)が北(みなみ)なら後(うし)ろは南(みなみ)。④ 谷川(たにがわ)に小(ちい)さな魚(さかな)が、た(た)く(さ)さん(お)お(よ)い(い)で(い)る。⑤ 東京(とうきょう)から広(ひろ)しま(しん)まで新(せん)かん線(い)で行(い)こう。⑥ ぼくは、し(らい)よう来(らい)、は(めい)つ明(てん)の天(さい)才(さい)になる。

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん5)

年 組 名前



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① かん字の画数を数えましよう。

② 教頭先生の話を書き日記に書いておこよう。

③ 木のえだで刀を作つて、はつぱを切る。

④ はりのあなに細い糸を通す。

⑤ 「おには外、ふくは内。せつ分でまめまきだ。

⑥ 正方形、長方形、形のべん強だ。

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん5)

年 組 名前



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① かん字の画数を数えましよう。  
(じ) (かくすう) (かぞ)② 教頭先生の話(はなし)を日記(にっき)に書いておこよう。  
(きょうとうせんせい) (はなし) (にっき) (か)③ 木のえだで刀(かたな)を作(つく)って、はっぱを切(き)る。  
(き) (かたな) (つく) (き)④ はりのあなに細(ほそ)い糸(いと)を通(とお)す。  
(ほそ) (いと) (とお)⑤ 「おには外(そと)、ふくは内(うち)。」せつ分(ぶん)でまめまきだ。  
(そと) (うち) (ぶん)⑥ 正方形(せいほうけい)、長方形(ちやうほうけい)、形(かたち)のべん強(きやう)だ。  
(せいほうけい) (ちやうほうけい) (かたち) (きやう)

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん6)

年 組 名前



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① 冬に雪がふると、原っぱで雪合せんだ。

② 新しい教科書をもらうので、古いものをかたづけ。

③ 地きゅうには、引力がある。

④ 売店で、新聞とおやつを買う。

⑤ 海に近い公園に、野鳥がたくさん来る。

⑥ テレビのリモコンに電池を入れる。

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん6)

年 組 名前



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① 冬(ふゆ)に雪(ゆき)がふると、原(はら)っぱで雪(ゆき)合(が)せんだ。

② 新(あたら)しい教(き)科(ょう)書(か)を(し)も(よ)ら(う)う(の)で、古(ふる)いものをかたづけろ。

③ 地(ち)き(い)ゆ(ん)う(り)には、引(いん)力(り)がある。

④ 売(ばい)店(てん)で、新(しん)聞(ぶん)と(お)や(つ)を(か)買(い)う。

⑤ 海(うみ)に(ち)近(か)い公(こう)園(えん)に、野(や)鳥(ちよう)が(く)た(く)く(く)さん来(く)る。

⑥ テレビのリモコンに電池(でんち)を(い)入(い)れる。

学 年

低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん4)

年 組 名前



( ) の かん字を書きましよう。

おくりがながいる字は、おくりがなもつけましよう。

①

[ ] の [ ] を、たくさん [ ] 。

(としよし)

(ほん)

(よむ)

(てら)

(もん)

(まえ)

(ゆみや)

(ひと)

②

お [ ] の [ ] の [ ] に、 [ ] をもった [ ] がある。

(よる)

(あかるい)

(みち)

(あるく)

③

わたしは、 [ ] [ ] [ ] を [ ] 。

(うま)

(なか)

(そうげん)

(はしる)

④

[ ] の せ [ ] にのつて、 [ ] を [ ] 。

(ひがえり)

(くろい)

(いわ)

⑤

[ ] ツアーで [ ] [ ] にのぼりました。

学 年

低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん4)

年 組 名前



( ) の かん字を書きましよう。

おくりがながいる字は、おくりがなもつけましよう。

①

図書室の本を、たくさん読む。

(としよしつ)

(ほん)

(よむ)

(てら)

(もん)

(まえ)

(ゆみや)

(ひと)

②

お寺の門の前に、弓矢をもった人がいる。

(よる)

(あかるい)

(みち)

(あるく)

③

わたしは、夜 明るい 道 を歩く。

(うま)

(なか)

(そうげん)

(はしる)

④

馬のせ中 につて、草原を走る。

(ひがえり)

(くろい)

(いわ)

⑤

日帰りツアーで 黒い 岩 にのぼりました。



学 年

低

かん字のふくしゅう（書き・ていがくねん5）

年 組 名前



（ ）のかん字を 書きましょう。

おくりがながいる字は、おくりがなも書きましょう。

①

も

だちも

にしよう。

(じぶん)

(とも)

(たいせつ)

(さんかく)

(ちよつかく)

②

じょうぎには、

がある。

(でんき)

(かぜ)

(みず)

(ちから)

③

は、

や

の

でおこせるよ。

(こう)

(てん)

(ちゅう)

④

さ

をわたるときは、

をかくにんしよう。

(きょうだい)

(こころ)

⑤

ぼくの

は、とても

がやさしいよ。

学 年

低

かん字のふくしゅう（書き・ていがくねん5）

年 組 名前



（ ）のかん字を 書きましよう。

おくりがながいる字は、おくりがなも書きましよう。

①

自分も友だちも大切にしよう。

(じぶん)

(とも)

(たいせつ)

(さんかく)

(ちよつかく)

②

三角じょうぎには、直角がある。

(でんき)

(かぜ)

(みず)

(ちから)

③

電気は、風や水の力でおこせるよ。

(こう)

(てん)

(さゆう)

④

交差点をわたるときは、左右をかくにんしよう。

(きょうだい)

(こころ)

⑤

ぼくの兄弟は、とても心がやさしいよ。

(きょうだい)

(こころ)

学 年  
低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん6)

年 組 名前



( )のかん字を 書きましょう。

おくりがながいる字は、おくりがなも書きましょう。

(ふゆ)

(ゆき)

(はら)

(ゆきがつ)

①

に

がふると、

つばで

せんだ。

(あたらしい)

(きょうかしよ)

(ふるい)

②



をもらうので、

ものをかたづけろ。

(ち)

(いんりよく)

③

きゆうには、

がある。

(ばいてん)

(しんぶん)

(かう)

④

で、

とおやつを

。

(うみ)

(ちかい)

(こうえん)

(やちよう)

(くる)

⑤

に



に、

がたくさん

。

(でんち)

(いれる)

⑥

テレビのリモコンに

を

。

学 年  
低

かん字のふくしゅう（書き・ていがくねん6）

年 組 名前

★（ ）の かん字を 書きましよう。 おくりがなも書きましよう。

(ふゆ)

(ゆき)

(はら)

(ゆきがつ)

① 冬

に 雪 がふると、

原 つばで

雪合 せんだ。

(あたらしい) (きょうかしよ)

(ふるい)

② 新しい

教科書 をもらうので、

古いものをかたづけろ。

(ち)

(いんりよく)

③ 地

きゆうには、 引力 がある。

(ばいてん)

(しんぶん)

(かう)

④ 売店 で、

新聞 とおやつ を買う。

(うみ)

(ちかい)

(こうえん)

(やちよう)

(くる)

⑤ 海 に近い

公園 に、

野鳥 がたくさん 来る。

(でんち)

(いれる)

⑥ テレビのリモコンに

電池 を入れる。